

エイズに関する国連総会ハイレベル会合 スケジュール

<https://hlm2021aids.unaids.org/>

エイズに関するハイレベル会合は 2021 年 6 月 8-10 日に開かれます。HIV の影響軽減に向けて得られた 2016 年の HIV とエイズに関するハイレベル会合と国連総会以降の成果を検証し、今後の対策の方向性を示す新たな政治宣言の採択を目指す会合です。

2021 年ハイレベル会合は、不平等を解消し、HIV の流行を助長する社会的決定要因をなくすための「行動の 10 年」の出発点となります。最初のエイズ症例報告から 40 年、国連合同エイズ計画（UNAIDS）の創設から 25 年という歴史の節目に開かれる会合です。最高レベルの政府首脳に参加、および準備過程での合意に従い、市民社会などすべての利害関係者のあらゆる方法による完全な関与を UNAIDS は強く求めます。

『エイズ終結に関するハイレベル会合に結集することを国連の全加盟国に呼びかけます。力を合わせれば、2030 年までのエイズ流行終結に向けた動きは加速できます』

ヴォルカン・ボズクル国連総会議長

【2021 年 6 月 8 日】 10:00-11:00

開会式全体会合

演説

- ・ヴォルカン・ボズクル第 75 回国連総会議長
- ・アミーナ・J・モハメッド国連副事務総長
- ・ウィニー・ビヤニマ国連合同エイズ計画（UNAIDS）事務局長
- ・ヤナ・パンフィロバ HIV 陽性女性（GNP+メンバー）
- ・シャリーズ・セロン HIV/エイズ対策を支える著名人、国連平和メッセンジャー、女優、プロデューサー

【2021 年 6 月 9 日】 10:00-11:30

テーマ別委員会 1：エイズ終結に向けた不平等への対応：2030 年までの 10 年

この委員会は、エイズ流行の拡大要因である不平等に焦点を当て、命を救うことができる包括的な HIV 予防とケアのサービスを利用できていない人たちのことを最優先で考え、誰

も置き去りにしないようにする方策を検討する。パネリストは、HIV の予防と治療に関する科学的成果、データとエビデンス、成功事例、診断、新技術、および予防と治療の普及に必要な行動について議論する。HIV と結核の重感染、小児のエイズに関するケアと支援もテーマに含まれる。

委員会は、最も必要性の高い人たちに焦点を当て、人権を重視した包括的な HIV 予防への投資を検討する。パネリストはまた、HIV 検査の再強化、検査と治療の 95-95-95 ターゲット達成、および、良質な医薬品・医療用品・医療技術を手ごろな価格で利用できるようにする方法についても検討を進める。公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を 2030 年までに達成することは持続可能な開発目標（SDGs）の一部でもあり、その達成軌道に戻すことが議論の焦点になる。

ハイブリッド方式の進め方：議場に入るのは代表団ごとに 1 人。バーチャルな委員会発言者にはインタープリファイ（遠隔同時通訳装置）でライブ接続する。委員会は国連ウェブテレビでライブ放送される。双方向性で節度を保った質疑の機会も設けられる。

【2021 年 6 月 9 日】 11:30-13:00

テーマ別委員会 2：人びととコミュニティをエイズ対策の中心に

この委員会は、HIV 陽性者および HIV に影響を受けている人たちのコミュニティに焦点を当てる。こうしたコミュニティこそが、エイズ対策の運営と意思決定、説明責任、およびモニタリングを実施する際のリーダーとして対策の中心となり、同時に HIV の予防と治療のサービスを最も必要としている人たちに届けるための中心でもある。

パネリストは、2025 エイズターゲット達成に向けた機会と課題について話し合う。とりわけ COVID-19 が流行する中で、公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を 2030 年までに達成するという政治の約束を果たし、政策を進めるには、コミュニティ主導の対策を支える必要があることを検討する。

委員会は、女性主導、キーポピュレーション主導を含むコミュニティ主導の対応に取り組む；コミュニティ主導の COVID-19 対策による新たな優先課題；HIV 陽性の女性やキーポピュレーションの女性、弱い立場の女性などへの適切な資金に裏付けられ、持続可能なコミュニティ主導の HIV サービスと予防プログラムの提供。

ハイブリッド方式の進め方：議場に入るのは代表団ごとに 1 人。バーチャルな委員会発言者にはインタープリファイ（遠隔同時通訳装置）でライブ接続する。委員会は国連ウェブテレビでライブ放送される。双方向性で節度を保った質疑の機会も設けられる。

【2021年6月9日】 15:00 - 16:30

テーマ別委員会3：効果的なエイズ対策への資金確保

この委員会は、健康と開発のための資金が厳しい状況の中で、HIV対策に十分な資金を確保するにはどうしたらいいかを検討する。パネリストは、SDG-3（健康と福祉）に焦点を当てた新たなエイズターゲットの達成に向けて、適切な場所と対象に適切な対策の提供が可能になる投資策の検討にあたる。

この委員会では、社会的支出を増やす手段としての HIV 資金の活用を検討する。また、人権を基本に据え、人びとを中心にした HIV 対策をモデルにしてユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の実現を目指すとともに、UHC システムに対する公的資金確保の必要性も検討する。さらに、プログラムの有効性を確保するための社会的な課題に向けた投資の必要性、および緊急事態への投資、パンデミック対策への投資の必要性も重視する。パネリストは債務救済や課税、違法な資金の流れ、持続可能性と不平等など、より広範な課題にも取り組む。

ハイブリッド方式の進め方：議場に入るのは代表団ごとに 1 人。バーチャルな委員会発言者にはインタープリファイ（遠隔同時通訳装置）でライブ接続する。委員会は国連ウェブテレビでライブ放送される。双方向性で節度を保った質疑の機会も設けられる。

【2021年6月10日】 10:00 - 11:30

テーマ別委員会4：エイズ対策におけるジェンダー平等の推進、女性と女児の地位向上

この委員会は、女性と女児の人権の確保、およびエイズの流行拡大を促す不平等への対処を検討する。パネリストはジェンダーに基づく不平等と暴力、および様々なかたちでからみあう差別について、エイズ対策の中でどう対処するのか議論していく。パネリストはまた、保健分野、とりわけ性と生殖に関する健康と権利、教育；女性および思春期の少女の経済的権利；ジェンダー平等を進める上で必要な男性・少年の役割、に関してもジェンダー平等の観点から話し合う。教育は、ジェンダーに基づく暴力や有害なジェンダー規範への対応の入り口になるとともに、HIV 予防に取り組む入り口としても有効である。また、女性と女児が力をつけるには、平等を目指す全ての世代のためのフォーラム（GEF）との連携も重要となる。

ハイブリッド方式の進め方：議場に入るのは代表団ごとに 1 人。バーチャルな委員会発

言者にはインタープリファイ（遠隔同時通訳装置）でライブ接続する。委員会は国連ウェブテレビでライブ放送される。双方向性で節度を保った質疑の機会も設けられる。

【2021年6月10日】 11:30 - 13:00

テーマ別委員会 5：エイズ対策に与える COVID-19 パンデミックの影響への対応、および新たなパンデミックへの準備強化

この委員会は、COVID-19 の流行に伴って導入された HIV 対策と COVID-19 対策の革新的な対応、政策、構造的変化を具体的に示し、多部門にわたるパンデミックへの準備と対応のシステム構築に向けた貢献策を検討する。パネリストは SDGs を追求する中で、医療制度全般を含む、パンデミックへの準備と対応の改善策を取りあげる。

デジタルな保健基盤と受け手の事情に合わせた柔軟な分化型サービス提供モデルを通し、イノベーションとテクノロジーが、SDG-3（健康と福祉）の達成を妨げているボトルネックにどこまで対応できるのか。パネリストはこの点も検討する。委員会は、すべての人に健康を提供するにはコミュニティ主導の対応が重要なことを認識し、保健と社会経済的支援を公平に受けられるようにするには各国間および各国内の連帯が重要なことも考察する。

ハイブリッド方式の進め方：議場に入るのは代表団ごとに 1 人。バーチャルな委員会発言者にはインタープリファイ（遠隔同時通訳装置）でライブ接続する。委員会は国連ウェブテレビでライブ放送される。双方向性で節度を保った質疑の機会も設けられる。